

# ヴィラ赤井

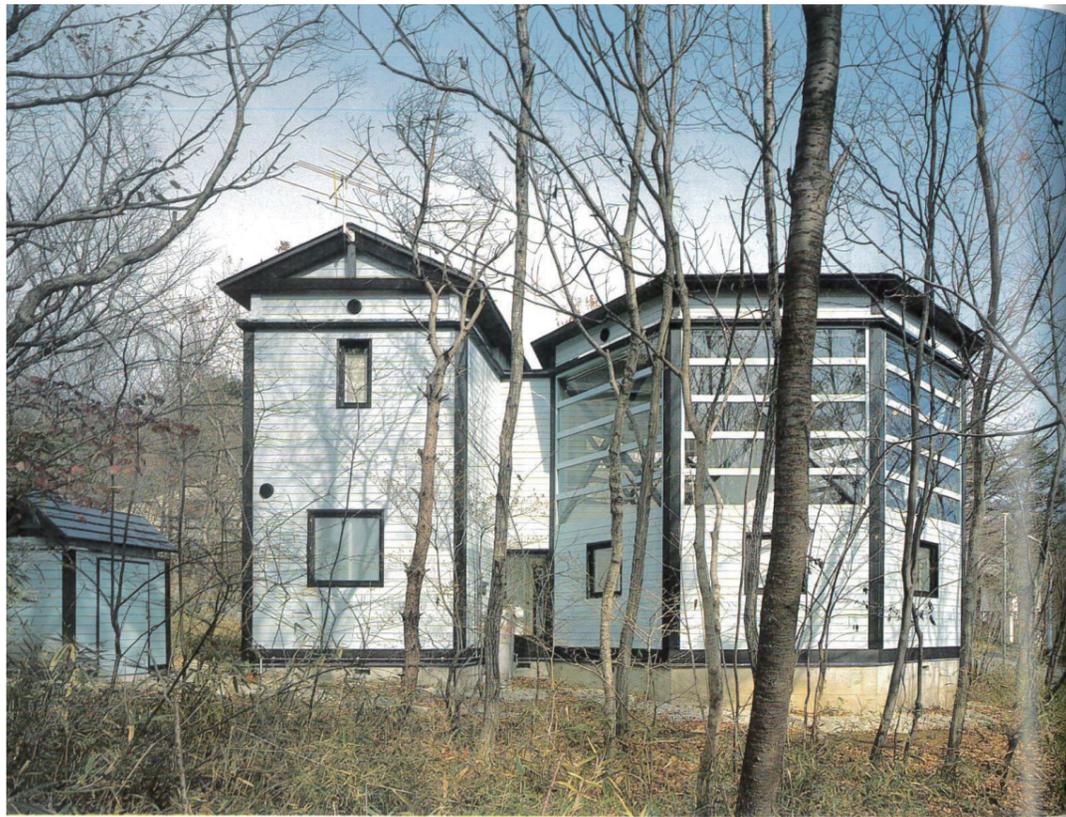
團紀彦 / 1985

敷地は那須高原の別荘地の中の一画にあり、周囲は樺や樺の広葉樹林が広がっている。

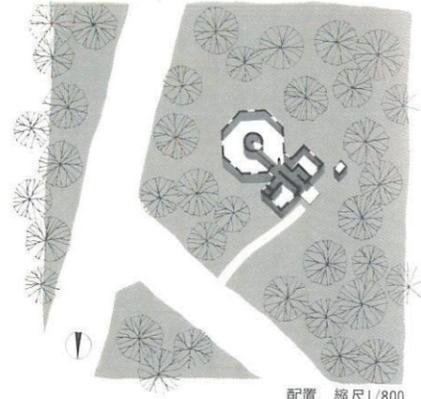
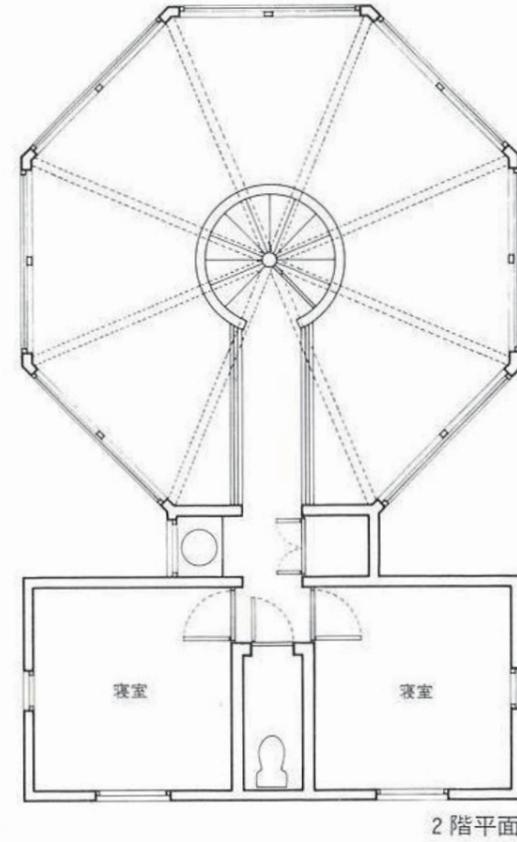
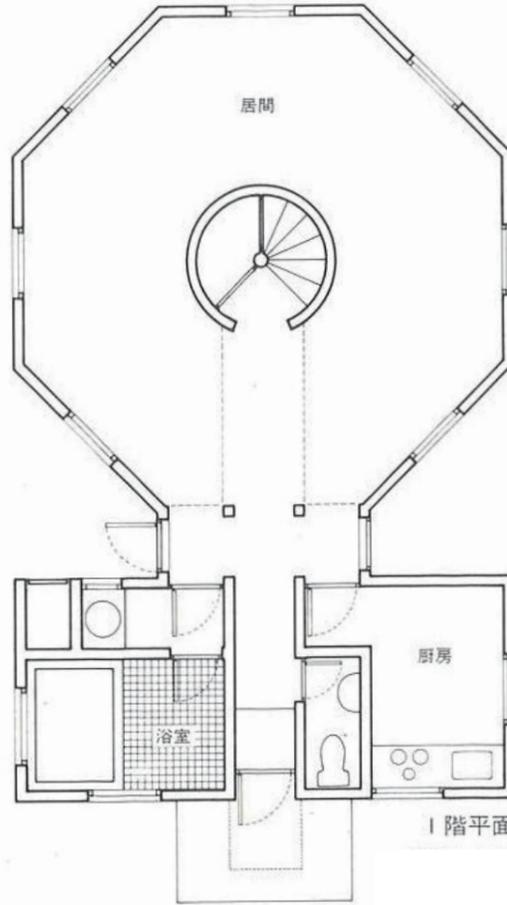
ここに建つ夏季住宅は、垂直方向の空間の推移を体験するための装置をその中心に据えている。

腰回りの部分をあえて閉ざすことによってプライバシーを守ると同時に、上部は積極的に開放して外部とのつながりを保っている。

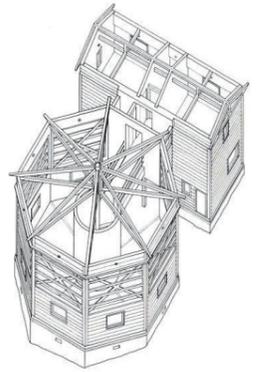
クライアント夫婦のためだけでなく、社員寮としての目的を持っているため、中央に円柱の置かれた八角形の平面は、2つのテーブルとソファーによって自由に分割、使い分けができるようになっている。



南西よりみる

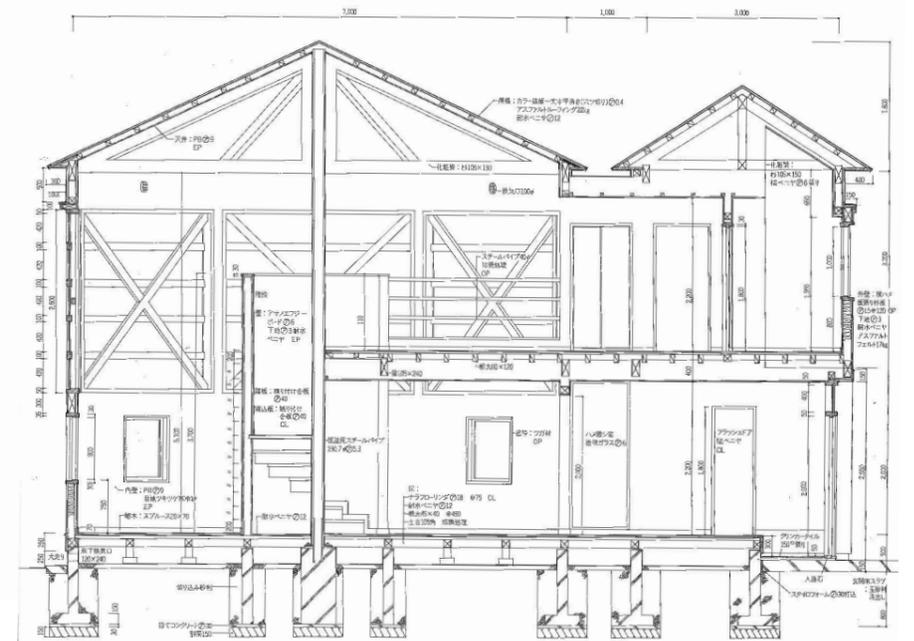


配置 縮尺 1/800



構造種別：木造  
延床面積：88.3 m<sup>2</sup>

平面図 1:100



断面図 1:100